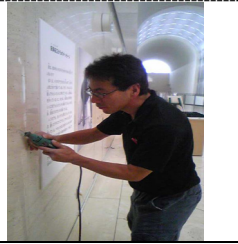


萌黄 (もえぎ) 通信

「もえぎ」、とは私の一人娘の名前です。誕生年と創業が同じなんです。



みなさんこんにちは。あつという間に夏が過ぎ、最近では、秋の気配が感じられるようになってきました。

今年は雨続きが多くて、工事現場でも熱

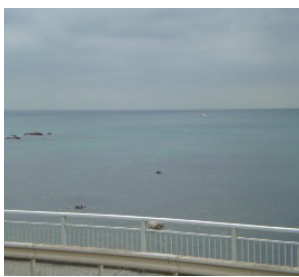
中症になる人がかなり少なく、そういう意味では、過ごしやすい夏でした。でも晴れた日には、まだ残暑が厳しいので、こまめに休憩を取って、水分補給は忘れないでくださいね。

9月というと、運動会・文化祭の季節です。娘も学園祭が今月あるので、何とか都合を付けて見に行きたいと思っています。今年も英語劇があるので、朝練、頑張っているみたいです。

葉山の現調は一日掛かり

先月の終わりに、神奈川県の葉山まで現場の下見、及びテスト施工に行ってきました。現場は、個人邸の別荘で、庭の

プール続きに海がある場所で、今年初めての海見物となりました。葉山まで来ると、海水がかなり澄んでいて、浅瀬はエメラルドグリーンにも見える程綺麗なところ。往復に6時間以上もかかってしまい、ちょっとしたド



ライブになった格好で、折角ここまで来たので、お昼は海に面したお洒落なレストランで、さかな料理を食べて帰ってきました。

「ビアンコブルーエのサビ」

今回の施工現場は、石材を梱包してあった木枠のシミが付いているということで、施工に入った現場で、木のアクしみが出ていたところをシミ抜きしたのですが、どうしても抜けない茶色いシミが多く残りました。

石屋さんに、いろいろ状況を聞いてみると、現場に付いたときに木枠だけでなく、大理石も濡れていたということは、移送中に雨にあたり石材がかなり濡れた状態だったので石の中の鉄部分が酸化した可能性も考えられます。

ビアンコ系の大理石では黄変現象が出る事例が多く、特に、水回りや、床石に使うと黄色いシミを作ることがあります。

今回の現場では、木枠自体の木のシミもありましたので、

まず、木シミ抜きを行い、抜けない部分へは、中性のチオグリコール酸アンモニウムをベースとした石材用シミ抜き剤（商品名：AD-7又はベクトル）を塗布して、サビ抜



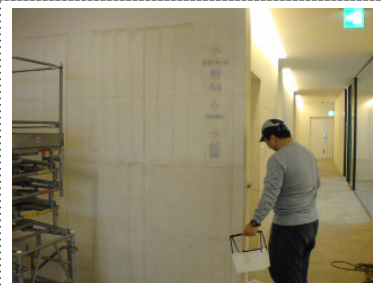
きを行います。サビ部分には、写真のように紫色に変色してくるので、すぐに判明します。黄色いシミが取れてきたら、最後に水ですすいで洗剤分を取り完了です。

ライムストーンへ防汚コート

多くのオフィスビルの1階ロビーなどでは、壁石にライムストーンが多く使われています。

しかし、モカクリームやブランコドマールは、かなり吸水性が高いため、石貼りの施工中でも汚れが付きやすい上に、写真のようなエレベーターホールなどでは、引き渡し後でも人が触ったりして手垢などが付きやすい石種です。そこで今回、防汚を兼ねてコート塗布の依頼が来しました。

フッ素をベースにした、浸透性の防汚コートをローラーでたっぷり石材に吸わせていきます。



乾燥後は、石の色味も変わらず、ツヤも出ないので、汚れで困っている所では、お勧めコートです。

（編集後記）以前、石材メンテナンスを勉強中に離れていった仲間が、返ってきました。今後を見据えての選択だそうです。また、頑張りましょう！

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (有)ケイ・アンド・エス 堀内貢次

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10 タスク内

(電話) 03-3431-0387 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) kandsstg@jt4.so-net.ne.jp